

令和4年度盛岡市予算の概要について

1 予算規模【資料1】・キャッチフレーズ

◇総額 1,276億 2,000万円 過去最大の予算規模

◇「いのちと健康を守り 新たな飛躍の土台づくりへ もりおか未来創造予算」

令和4年度一般会計予算の総額を 1,276億 2,000万円とした。

前年度当初予算との比較で、87億 5,400万円、 7.4パーセントの増となっている。

また、令和3年度の 1,188億 6,600万円を超え、**過去最大の予算規模**となった。

令和4年度の予算編成においては、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、社会経済情勢が大きく変化し、市民生活や市内経済にも大きな影響が長期に及んでいることを踏まえ、市民の生命と健康を守る施策を第一として、「感染症対策」と「経済対策」に引き続き取り組むこととし、併せて、感染症収束後の社会の動向を的確に捉え、将来に向けた「まちづくり」が停滞しないよう総合計画の各種事業を着実に進める観点から、厳しい財政見通しを踏まえて、国や県の補助金、地方交付税措置のある地方債などの特定財源の有効活用に留意しながら、積極的な予算化に努めた。

特にも、盛岡市・都南村合併30周年、沖縄県うるま市との友好都市提携10周年の節目を迎え、今後なお一層の市勢発展に繋がるよう、本市が目指すまちの将来像「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現に向けて、2つの戦略プロジェクトを総合計画に位置付けるなど、次の5つの視点から、予算を重点配分した。

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する状況にあつて、新型コロナウイルスワクチンの3回目及び5歳から11歳児童への接種など、感染症対策に優先的に取り組むことを基本方針とした上で、保健所の体制強化を図り、子宮頸がんワクチン接種の普及・促進等各種の疾病予防事業を積極的に進め、併せて、防災・災害対策として、消防力の強化など、いのちと健康を守り、安全に暮らせるまちづくりを行うこと。

2 造成を進めている道明地区の新産業等用地に加え、盛岡南公園周辺への新たな産業等用地の整備を進めるとともに、盛岡バスセンターの令和4年秋の開業、J R前潟駅の令和5年3月の開業やJ R仙北町駅のバリアフリー化など、人とモノの動きを重視したまちづくりを通して、産業・物流の拠点と交通インフラの整備を推進し、市民の移動や消費活動の促進と企業誘致による雇用の創出など、市内の経済の発展に寄与すること。

また、盛岡城復元調査推進室を新設するなど、盛岡城を活用したまちづくりの事業を進めるとともに、中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業の支援、内丸地区の将来のまちづくりを見据えた内丸プランの構築など、総合的に中心市街地の活性化を図ることにより、街の賑わいを創出すること

3 県と共同で建設を進めております新野球場の令和5年度の供用開始に向け、事業の着実な進捗を図るとともに、道の駅の建設、文化会館等へのWi-Fiの設置など各施設のハード面の整備と、初めて開催する市民総合文化祭や芸術・伝統文化体験事業、うるま市友好都市提携10周年記念事業や東京都文京区との産学官連携による農業活性化事業の実施、カナダ・ビクトリア市、台湾・花蓮市との産業等の分野を含めた幅広い交流の実現など、各種ソフト事業やイベントの開催を併せて実施することにより、コロナウイルス感染症の影響で長期にわたり活動が制限された状況から、芸術文化、スポーツ、地域コミュニティ、自治体間の交流などの様々な場面での活動の回復を図り、市民が日常生活の彩りと心の豊かさを実感し、交流を通じて盛岡の魅力を国の内外に発信できる環境を整えること。

4 福祉ニーズの多様化に対応した分野横断的な相談支援体制の確立、盛岡バスセンター内の子育て支援センター整備、給食センター建設やG I G Aスクール構想の推進等教育環境の充実、各種就職・就業事業など地元定着や雇用の確保策などを着実に進めることにより、盛岡が、「安心して生活できる、若い世代や子育て世代に選ばれるまち」になること。

5 令和3年度から取り組んできた盛岡A I ・ I o Tプラットフォームの構築を基礎として、企業との連携による実証実験等の事業展開を図るとともに、市の各種業務の基幹システムの標準化・手続きのオンライン化により業務の効率化を高めるなど、企業活動、市民生活、行政サービスの提供におけるデジタルトランスフォーメーションを推進・牽引して、先端技術を取り入れた、都市や産業のスマート化の基盤をつくること。

以上のことを踏まえ、令和4年度一般会計予算については、
「いのちと健康を守り 新たな飛躍の土台づくりへ もりおか未来創造予算」
としたところである。

2 新型コロナウイルス感染症に係る対策事業【資料2】

◇感染症対策及び経済対策に係る経費の合計で、21億 3,531万円の予算を計上。

(1) 感染症対策に係る経費 16億 9,428万円

〔主な事業〕

- ・新型コロナウイルスワクチン接種経費 (1,169,915千円)
- ・PCR検査経費など (472,333千円)
- ・地域児童クラブ、児童館等を使用する衛生物品調達経費 (18,860千円)
- ・いわて盛岡シティマラソン等を使用する衛生物品調達経費 (9,449千円)
- ・キャッシュレス導入経費 (4,519千円)

(2) 経済対策に係る主な事業 4億 4,103万円

〔主な事業〕

- ・盛岡市くらしの相談支援室の体制強化 (6,000千円)
- ・住居確保給付金の支給 (15,279千円)
- ・令和2年度に、県の緊急支援融資制度等を借入れた事業者に対する、信用保証料及び利子補給 (417,026千円)

3 戦略プロジェクト事業【資料3】

◇2つの戦略プロジェクトで事業を重点化

(1) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

(51事業／事業費：10億 8,052万円)

〔新規事業〕

- 1 スマートシティ関連事業 (6,800千円)
⇒企業同士が連携する仕組みを構築し、未来技術の社会実装を支援
- 2 (仮称)盛岡南地区新産業等用地整備推進事業 (10,000千円)
⇒物流事業者の立地を想定した新たな産業等用地の整備を推進

- 3 保育体制強化事業 (18,000千円)
⇒遊具の消毒等といった保育に係る周辺業務を行う保育支援者の配置に対し一部補助
- 4 介護の仕事魅力発信事業 (152千円)
⇒介護施設職員による出前講座の実施
- 5 児童センター利用時間延長 (299千円)
⇒手代森・乙部・上米内児童センターの開館時間を延長
- 6 放課後児童クラブ家賃補助 (1,764千円)
⇒放課後児童クラブに対する賃借料補助の補助率を1/8から1/4に引き上げ
- 7 余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業 (2,500千円)
⇒桜城小学校の余裕教室を活用した放課後児童クラブの整備(4年度は、実施設計)
- 8 子ども・子育て情報発信事業 (770千円)
⇒アプリを活用し、子育て世代が必要とする情報を発信
- 9 不妊専門相談センターの設置 (1,782千円)
⇒不妊・不育症に関する相談支援や治療に関する情報提供を行うセンターを設置

〔拡充事業〕

- 1 スマート農業導入促進事業 (6,300千円)
⇒農業用ドローン本体、オペレーター認定取得経費、全自動・リモコン式草刈機取得経費の一部助成
- 2 中小企業人材育成支援事業 (300千円)
⇒事業者の経営力を強化するため、市内中小企業役員等を対象に研修受講料の一部を補助
- 3 盛岡AI・IoTプラットフォーム事業 (16,900千円)
⇒プラットフォームの設置、未来技術の実証実験への支援
- 4 移住・定住・交流人口対策事業(移住・定住の促進) (27,466千円)
⇒東京23区からの移住者などに対する支援金の支給や、高校生や大学生が地域を知る機会を提供
- 5 森のしごと見学会 (1,129千円)
⇒林業・木材産業の関連事業所の見学会(森のしごと見学会)を実施
- 6 盛岡テクノミュージアム設置事業 (425千円)
⇒市内の工場等が盛岡テクノミュージアムとして登録し、工場見学を受け入れる際に必要となる費用等の一部を助成
- 7 男女共同参画意識啓発事業 (389千円)
⇒市内企業に向けて、働く女性の人材育成と経営者・管理職の意識啓発を行うためセミナー等を開催

(2) 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト

(35事業／事業費：56億8,906万円)

〔新規事業〕

- 1 日本スポーツマスターズ2022岩手大会 (2,345千円)
⇒競技(水泳, テニス, バスケットボール, 空手道, ボウリング)会場で盛岡の魅力を発信
- 2 合宿開催補助事業 (1,208千円)
⇒市内で合宿を実施する場合, 1人あたり1泊2,000円などを補助
- 3 街なかさんさ発信事業 (1,810千円)
⇒中心市街地において盛岡さんさ踊りを観覧できる機会を創出
- 4 うるま市友好都市提携10周年記念事業 (12,196千円)
⇒令和4年度に友好都市提携10周年を迎える沖縄県うるま市と交流事業を実施
- 5 盛岡文士劇東京公演開催準備 (5,000千円)
⇒東京都文京区において開催することにより, 「文学・演劇のまち」としての魅力を首都圏に向けて発信(5年度開催)
- 6 (仮称)市民総合文化祭事業 (678千円)
⇒作品展示や舞台発表など, 市民が気軽に参加できる機会を提供
- 7 芸術・伝統文化体験事業 (2,200千円)
⇒子どもや保護者の芸術・伝統文化を体験する機会などを提供
- 8 内丸プラン作成業務 (20,000千円)
⇒(仮称)内丸プランの素案作成に向けた検討業務を実施
- 9 まちなかウォークブル推進事業 (-千円)
⇒歩行者中心のまちづくりを進め, 地域と連携しながら居心地がよく歩きたくなるまちなかを形成

〔拡充事業〕

- 1 東北六市連携事業 (5,000千円)
⇒首都圏等でのプロモーション活動やWEBを活用した東北の魅力を発信
- 2 盛岡さんさ踊り (18,075千円)
⇒地域の賑わいの創出と誘客を推進
- 3 盛岡秋まつり山車 (7,441千円)
⇒伝統行事の保存継承とともに, 地域の賑わいの創出と誘客を推進
- 4 姉妹都市等国際交流事業 (47,345千円)
⇒姉妹都市カナダ・ビクトリア市や友好都市台湾・花蓮市をはじめとする諸外国との教育・文化・スポーツなどを通じた交流を促進

- 5 移住・定住・交流人口対策事業(関係人口の創出・拡大等) (22,042千円)
⇒東京圏等の若年層向けの情報発信, オンラインイベントの開催, 盛岡コミュニティの活動支援

4 補足説明

(1) 特別会計・企業会計【資料1:1ページ】

〔特別会計〕

- 国民健康保険費特別会計
⇒国民健康保険事業費納付金の減などにより, 1.8%の減
- 介護保険費特別会計
⇒重層的支援体制事業の一般会計への移行などにより, 0.1%の減
- 後期高齢者医療費特別会計
⇒後期高齢者医療広域連合納付金の増により, 7.0%の増
- 新産業等用地整備事業費特別会計
⇒第二事業区の用地整備事業の増により, 180.2%の増
- 特別会計の計 ⇒新産業等用地整備事業費特別会計等の影響により, 0.1%の増
- 一般会計と特別会計の総合計 ⇒87億 8,317万円, 5.0%の増

〔企業会計〕

- 水道事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 5.6%の増
- 下水道事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 0.4%の減
- 病院事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 5.4%の増

(2) 一般会計歳入【資料1:2ページ】

○第1款 市税

⇒個人市民税, 法人市民税, 固定資産税

新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され, 持ち直しの動きがみられることから増収見込

たばこ税 減収見込

市税全体 令和3年度予算との比較で32億 5,455万円, 8.1%の増収見込

○第2款 地方譲与税 ~ 第11款 地方特例交付金

⇒国の地方財政計画等の見通しによる見込。

○第12款 地方交付税

⇒令和3年度の決算見込額を基に、国の地方財政計画の伸び率、市税や各種交付金、譲与税などの状況を勘案して、6.0%の増加見込

○第16款 国庫支出金

⇒中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業に係る、市街地再開発事業費交付金の増などにより、10.9%の増加見込

○第20款 繰入金

⇒公共施設等整備基金からの取崩し 6億7,239万円（対前年度2,597万円の減）
財政調整基金からの取崩し 22億3,734万円（対前年度18億4,194万円増）
財政調整基金の令和4年度末残高見込 約52億4,269万円

○第23款 市債

⇒学校給食センターや盛岡南公園野球場整備事業などの実施に伴い増加が見込まれるものの、臨時財政対策債の大幅な減額により、3.5%の減額見込
⇒市債発行額の割合 臨時財政対策債を除き一般会計予算総額の9.5%
⇒プライマリーバランス 赤字となる見通し
⇒令和4年度末市債残高見込 1,412億9,762万円
市民一人当たり49.6万円（令和4年1月末現在住民基本台帳人口284,967人）

(3) 一般会計目的別歳出【資料1：3ページ】

○第2款 総務費

⇒盛岡南公園野球場整備事業、道の駅設置事業、史跡盛岡城跡歴史的建造物復元整備資料調査事業、市庁舎整備基金積立金に要する経費の増加などで
21億3,534万円、16.3%の増

○第3款 民生費

⇒認定こども園等運営費給付事業、障がい児の通所に係る給付事業、老人福祉施設や私立児童福祉施設整備助成事業に要する経費の増加などで
18億7,367万円、3.8%の増

○第4款 衛生費

⇒新型コロナウイルスワクチン接種事業、PCR検査業務委託などを行う感染症予防事業、子宮頸がん予防ワクチン接種関連経費を含む予防接種事業などに要する経費の増加などで
15億4,349万円、16.5%の増

○第8款 土木費

⇒中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業、交通安全施設等整備事業に要する経費の増加などで

14億 9,546万円, 9.6%の増

○第10款 教育費

⇒(仮称)盛岡学校給食センター建設事業, 小中学校の校舎安全対策改修事業, 図書館大規模改修事業に要する経費の増加などで

21億 1,403万円, 23.2%の増

(4) 令和4年度当初予算主な事業一覧【資料4】

各会計の主な事業について, 次のように表示し, 目的別にまとめている。

- ・「事業名の☆」 ⇒新規事業(86事業)
- ・「戦略プロジェクト」 ⇒総合計画の戦略プロジェクト事業
- ・「合併建設計画」 ⇒旧都南村との合併建設計画事業
- ・「新市建設計画」 ⇒旧玉山村との新市建設計画事業
- ・「復興推進」 ⇒東日本大震災復興推進事業
- ・「長寿命化計画」 ⇒公共施設保有最適化・長寿命化計画事業

5 その他

(1) 当初予算額の推移

平成22年度以降, 1,000億円台で推移している。

令和4年度予算は, 1,276億 2,000万円で, 過去最大の予算となった。

年度	当初予算額 (単位:百万円)	前年度比	年度	当初予算額 (単位:百万円)	前年度比
22	101,485	6.0%	29	107,660	△3.2%
23	108,072	6.5%	30	110,640	2.8%
24	104,452	△3.3%	元	111,530	0.8%
25	103,347	△1.1%	2	114,890	3.0%
26	106,070	2.6%	3	118,866	3.5%
27	111,330	5.0%	4	127,620	7.4%
28	111,188	△0.1%	〔3⇒4〕 87億 5,400万円増		

(2) 財政調整基金等, 主要三基金の残高について

財政調整基金の令和4年度末残高見込額は, 約52億 4,269万円。

3年度末の残高見込額(=約74億 998万円)に対して, 約21億 6,729万円の減少となる見込みである。

◇主要三基金の年度末残高見込額

(単位：千円，%)

区 分	R 4 末見込	R 3 末見込	増減額	増減率
財政調整基金	5,242,688	7,409,982	△2,167,294	△29.2
市債管理基金	783,570	943,743	△160,173	△17.0
公共施設等整備基金	1,780,908	2,453,245	△672,337	△27.4
合 計	7,807,166	10,806,970	△2,999,804	△27.8

(3) プライマリーバランスについて

臨時財政対策債を含む市債の新規発行額、約 150億 4,785万円を見込み、元金償還額が約 122億 9,500万円（差＝△約27億 5,285万円）であることから、プライマリーバランスは3年連続の赤字となる見込みである。

- 臨時財政対策債に係る新規発行額を約28億 9,195万円としており、3年度（＝約69億 5,078万円）に比べて、約40億 5,883万円、58.4%減少した。
- 長寿命化関連事業に係る市債について、新規発行額を34億 9,960万円としており、3年度（＝25億 6,310万円）に比べて、9億 3,650万円、36.5%増加した。
- その他事業に係る市債について、新規発行額を86億 5,630万円とした。盛岡南公園野球場整備事業及び（仮称）盛岡学校給食センター建設事業に係る市債が、3年度（＝17億 1,160万円）に比べて、17億 9,570万円の増となる中、他の事業に係る市債の圧縮に努め、3年度（＝43億 7,040万円）に比べて7億 7,860万円、17.8%の増加に留めた。

◇市債発行区分

(単位：千円，%)

区 分	R04新規発行額	R03新規発行額	増減額	増減率
臨時財政対策債	2,891,954	6,950,782	△4,058,828	△58.4
長寿命化計画関係事業	3,499,600	2,563,100	936,500	36.5
その他の事業	8,656,300	6,082,000	2,574,300	42.3
野球場・給食センター事業	3,507,300	1,711,600	1,795,700	104.9
上記以外の事業	5,149,000	4,370,400	778,600	17.8
合 計	15,047,854	15,595,882	△548,028	△3.5

※) 「その他の事業」に係る新規発行額の増に係る主な事業は以下のとおり。

- （仮称）盛岡学校給食センター建設事業債 1,600,200千円（皆増）
- 地方道路等整備事業債 568,500千円増
- 道の駅整備事業債 273,000千円増
- 盛岡南公園野球場整備事業債 195,500千円増

(4) 資料4の主な事業一覧の新規事業（☆）数について

4年度は一般会計で、小中学校校舎安全対策改修事業 など86事業、1,484,087千円となっている。（3年度＝60事業、1,489,901千円）

また、特別会計において新規事業はない。（3年度＝0事業）

(5) 資料4の主な事業一覧の「新市建設計画」の事業数について

4年度は一般会計で、道の駅設置事業など、19事業、1,248,619千円となっている。（3年度＝16事業、428,987千円）

(6) 資料4の主な事業一覧の「復興推進」の事業数について

4年度は一般会計で、東日本大震災復興推進事業など3事業、78,326千円となっている。（3年度＝3事業、77,334千円）

(7) 資料4の主な事業一覧の「合併建設」の事業数について

4年度は一般会計で、盛岡南公園野球場整備事業など6事業、4,144,993千円となっている。（3年度＝6事業、3,946,653千円）

(8) 施設の長寿命化計画関連事業等について

施設の長寿命化関連事業については、公共施設の最適化・長寿命化計画に基づく教育施設の大規模改修事業など、約44億7,990万円の予算額となる。3年度との比較では、計画に含まれない旧清掃工場施設解体事業などの減があるものの、当該計画事業では、加賀野地区活動センター外2施設複合化・大規模改修事業などが増額となったため、全体では約9億2,498万円、26.0%の増となっている。

◇施設の長寿命化関連事業

（単位：千円、％）

区 分	R04事業費	R03事業費	増減額	増減率
最適化・長寿命化計画	4,181,750	2,999,749	1,182,001	39.4
長寿命化修繕	20,059	19,271	788	4.1
その他	278,090	535,895	△257,805	△48.1
合 計	4,479,899	3,554,915	924,984	26.0

※1) 「最適化・長寿命化計画」は、公共施設の最適化・長寿命化計画に基づく事業

※2) 「長寿命化修繕」は、計画には含まれないものの、施設の長寿命化のために行う電気設備等の修繕

※3) 「その他」は、上記計画には含まれていない庁舎・施設などに係る修繕等を行う事業